

地域にとけこむ大学を目指して、地域志向人材を育成

—「地(知)の拠点整備事業」(大学 COC 事業)の展開と地域協学センターの取組—

地域協学センター

○ 「地(知)の拠点整備事業」(大学 COC 事業)の展開と地域協学センターの取組について (概要)

岐阜大学は、「『学び、極め、貢献する』地域に根ざした国立大学」を理念として掲げて、広く地域の要請と期待に応えられるよう努めています。「地域に根ざした大学」を目指して、岐阜大学は、地(知)の拠点として、全学体制で地域の課題を解決すべく、文部科学省の「地(知)の拠点整備事業」(大学 COC (Center of Community) 事業)において、「ぎふ清流の国、地×知の拠点創成：地域にとけこむ大学」が採択され、COC 事業の実施支援機関として、平成 25 年 12 月に地域協学センターを設置しました。

地域の課題解決に資する様々な人材や情報・技術が集まる地域コミュニティの中核的存在としての「地(知)の拠点」となることを目指して取組を進めている本センターの活動内容を紹介いたします。
≪資料はパンフレット、別紙のとおり≫

○平成 27 年度から、「次世代地域リーダー育成プログラム」を本格実施

(概要)

「次世代地域リーダー育成プログラム」は、「地域を知り」、「地域の課題を見つけ」、「地域の課題解決に向けて行動する」能力、すなわち、「地域リテラシー」を備え、地域で実践的に活躍し、地域の中でリーダーシップを発揮できる人材、並びにリーダーを支援する人材である「次世代地域リーダー」を育成することを目的とするプログラムです。

本プログラムは、平成 27 年度から本格実施されます。

本プログラムは、初級段階と上級段階に分かれており、地域の現状の把握及び地域の課題解決に貢献できる知識・理解・意欲・能力を修得できるようカリキュラムが構成されています。特に、岐阜大学の卒業要件として、初級段階の「地域志向科目群」から 2 単位の修得が選択必修(平成 27 年度以降の入学生全員対象)となっています。また、初級段階の「地域活動科目群」又は「地域実践科目群」の単位を修得し、地域活動をコーディネートするための基本的な知識と技能を有すると認められた者に対し、「学生コーディネーター」の称号が授与されます。

上級段階の「次世代地域リーダー育成科目群」から 4 単位を修得した学生は、プログラム(上級段階)修了者と認定され、併せて履修証明書が交付されます。さらに、「次世代地域リーダー育成プログラム」の上級段階の修了後、岐阜大学・地域協学センターとの継続的な協働活動を 1 年以上行い一定の実績を上げた者は「ぎふ次世代地域リーダー」の称号が授与されます。

≪資料はパンフレットのとおり≫

【本件に関する問い合わせ】

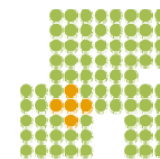
地域協学センター長(教授)

益川 浩一(ますかわ こういち)

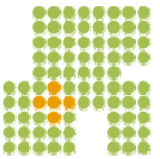
TEL 058(293) 3870

E-mail: masukawa@gifu-u.ac.jp

研究プロジェクトA採択一覧



分類	課題テーマ	研究課題名
プロジェクトA	【高齢社会】	空き家問題の解決に向けた地域づくりのための基礎的研究
	【高齢社会】	インターネットを介した見守りシステムによる高齢者生活支援と地域コミュニティ再生の可能性にかんする研究
	【環境】	外来種、大金鶏菊が含有する有用物質の探索
	【環境】	持続可能な鳥獣捕獲体制の確立を目指した新地域モデルの構築
	【環境】	気温・体感温度からみた岐阜県内の健康リスクに関する地域性および経年変化
	【環境】	地下水資源を活かしたくらしづくり
	【環境】	シクラメン病害における抗菌性ハーブの選抜及び病害防除利用
	【環境】	地域の自然環境保全のための官学民連携基盤形成と市民への啓発
	【過疎】	地域で生きることの「希望」に関する心理学的研究～高山・下呂地域を対象として～
	【過疎】	超高齢社会におけるモビリティ確保のための生活交通の実態
	【過疎】	郡上市における森林起点型地域社会システムのモデル構築 —木質バイオマス利用による地域活性化戦略の検討—
	【過疎】	地域社会における自助・共助を促す減災方策の有効性検証と多地域展開促進



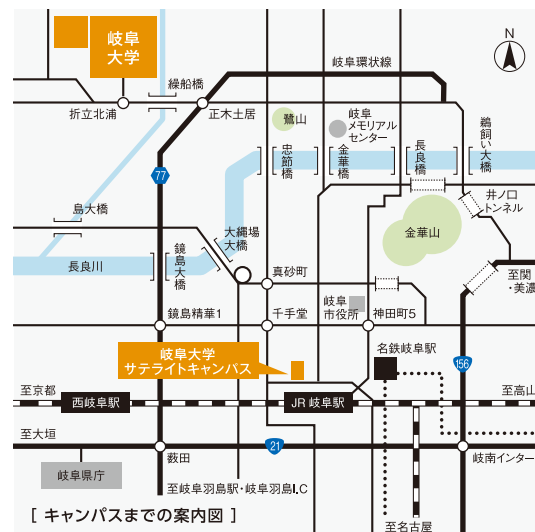
研究プロジェクトB・地域志向教育プロジェクト採択一覧

分類	研究課題名
プロジェクトB	指揮命令体制に基づく災害医療体制構築のための法的・倫理的・社会的問題 についての研究
	遺伝 的解析に基づく 美濃柴犬の保全
	「美味しさ」と「安全」の両立による岐阜産地鶏の付加価値向上
	高山市におけるミズバショウ群落再生による地域活性化
	郡上市石徹白民俗・方言調査
	博物館・学校・教育学部連携による地域自然学習推進のための調査研究—教 員向け博物館活用ガイドブック〔自然編〕の作成—
地域志向教育 プログラム	美術教育実践教材論(前期)、美術科教育法(前・後期)
	初年次セミナー(1年次前期)
	地域体験実習(10月2,9,23日、11月6,13,20,27、12月4日)
	現)植物形態学及び実験 →新)植物形態学及び地域自然環境学実習[理科教育 (生物)3年前期]
	芸術論研究(後学期)
	専門セミナー(加茂郡川辺町での地域調査の実施)

平成26年度ぎふフューチャーセンター実施状況

日程	テーマ	会場	主催
第1回 6/5	県美術館を活用して地域を活性化するには 【参加者数 28 人：学生 9 人、大学教職員 6 人、県職員 6 人、県美術館サポーター7 人】	岐阜県美術館 スタジオ	岐阜大学 岐阜県
第2回 6/20	若者が魅力を感じる[まちづくり]と[課題] 【参加者数 41 人：学生 10 人、大学教職員 5 人、高山市職員 5 人、地域 16 人】	高山市役所 会議室	岐阜大学 高山市
第3回 7/2	郡上市へ移住する人を増やすためには 【参加者数 36 人：学生 19 人、大学教職員 5 人、郡上市職員 5 人、地域 7 人】	郡上市八幡防 災センター	岐阜大学 郡上市
第4回 8/18	岐阜市においてユニバーサルデザインを推進するには？ 【参加者数 33 人：学生 10 人、大学教職員 9 人、岐阜市職員 8 人、地域 6 人】	岐 阜 大 学 図 書 館 ラーニ ングコモン ズ	岐阜大学 岐阜市
第5回 8/23	荘川の自然をどう考えるか 【参加者数 21 人：大学生 14 人、高山市職員 4 人、地域 3 人】	高 山 市 役 所 荘川支所	岐阜大学（応用 生物科学部、地 域協学センタ ー）
第6回 9/1 【高大連携】	地域産業が活気付くには一 雇用の場の創出 【参加者数 48 人：大学生 17 人、大学教職員 4 人、高 山市職員 10 人、高校生 10 人、地域 7 人】	高 山 市 図 書 館 生 涯 学 習 ホール	岐阜大学 高山市 （高山西高校）
第7回 9/14	飛騨牛ブランドをどう考えるか 【参加者数 26 人：大学生 11 人、大学教職員 9 人、畜 産農家 3 人、JA 職員 3 人】	JA ひだ本店	岐阜大学（応用 生物科学部・地 域協学センタ ー）、JA 全農岐 阜
10/2 【高大連携】	いびについて語ろう！～地 域のために若者ができるこ と～ 【参加者数 36 人：大学生・ 院生 7 人、大学教職員 4 人、 高校生 13 人、高校教員 2 人、 揖斐川町職員 3 人、揖斐警察 1 人、地域 6 人】	揖斐高校	揖斐高校 岐阜大学

第8回 10/23	スマホ時代のくらしの安全・安心 【参加者 45 人：大学生 13 人、大学教職員 4 人、岐阜市職員 13 人、地域 15 人】	ハートフル スクエア G 大研修室	岐阜大学 岐阜市
第9回 11/7	地域の高齢者を支えるために大学生や学生ができること 【参加者 24 人：学生 11 人、県職員 3 人、地域（三田洞団地、県議、市議）10 人】	三田洞団地 集会場	岐阜大学 岐阜県
第10回 2015/1/16-18	石徹白の地域の課題について 【参加者 19 人：学生 10 人、大学教職員 3 人、地域住民 6 人】	郡上市石徹白	岐阜大学
第11回 2015/1/21	“岐阜らしさ”と暮らす 【参加者 44 人：学生 11 人、大学教職員 8 人、岐阜市職員 8 人、地域 13 人】	駅前サテライト キャンパス	岐阜大学 岐阜市
第12回 2015/2/13	災害から身を守るためには 【参加者 46 人：学生 14 人、大学教職員 5 人、郡上市職員 7 人、地域 20 人】	郡上市総合文化 センター	岐阜大学 郡上市
第13回 2015/2/23	生物多様性を考える ～レッドデータと外来種問題～ 【参加者 29 人：学生 10 人、大学教職員 4 人、自治体職員 12 人（岐阜県 8 人、岐阜市 2 人、美濃加茂市 2 人）、地域 3 人】	岐阜大学図書館 2 階 ラーニングコモンズ	岐阜大学 岐阜県



CCSC

地域協学センター

Center for Collaborative Study with Community



ぎふ清流の国

地×知の拠点創成「地域にとけこむ大学」



地域協学センター

Center for Collaborative Study with Community

「地域にとけこむ大学」 を目指して

岐阜大学は、「『学び、極め、貢献する』地域に根ざした国立大学」を理念として掲げて、広く地域の要請と期待に応えられるよう努めています。全学体制で地域の課題を解決すべく、文部科学省の「地(知)の拠点整備事業」(大学COC(Center of Community)事業)において、「ぎふ清流の国、地×知の拠点創成:地域にとけこむ大学」が採択され、COC事業の実施支援機関として、平成25年12月に地域協学センターを設置しました。

地域協学センターでは、専任の教員の他、連携自治体である岐阜県・岐阜市・高山市・郡上市から派遣された自治体職員のみなさん、また、地域でNPO活動・ボランティア活動等で活躍している方を地域コーディネーターとして配置し、全学をあげて各学部・部局等が連携して、岐阜大学が、地域の課題解決に資する様々な人材や情報・技術が集まる地域コミュニティの中核的存在としての「地(知)の拠点」となることを目指しています。

ここでは、「次世代地域リーダーの育成」、「地域志向学の推進」、及び「多様な人々が集い対話する『場』(ぎふフューチャーセンター)の形成」を取り組みの3つの柱として、事業を推進しています。これらの取り組みを一層推進させ、地域や自治体との連携をさらに推し進める中で、「地域にとけこむ大学」として「地(知)の拠点」となるべく努力していきたいと考えています。

地域協学センター長・教授 益川 浩一

01 教育

全ての学生が受講できる地域志向教育のプログラムを展開し「次世代地域リーダー」を育成します。

「次世代地域リーダー」

「地域(岐阜)を知り」「地域(岐阜)の課題を見つけ」「地域(岐阜)の課題解決に向けて行動する」能力、すなわち「地域リテラシー」を備え、地域の中でリーダーシップを発揮できる人材、並びにリーダーを支援する人材を育成します。

次世代地域リーダー育成プログラムの展開

○プログラム履修プロセス

【初級段階】

A. 地域志向科目群(71科目) ※科目数は平成27年度開講
…全学共通教育および学部開講の地域志向科目

※H27年度入学生より2単位選択必修

B. 地域活動科目群(7科目) ※科目数は平成27年度開講
…地域でのボランティア活動の単位認定

C. 地域実践科目群(3科目) ※科目数は平成27年度開講
…地域でのインターンシップ活動の単位認定

▼
3つの科目群から8単位以上を修得すると上級段階へ
【上級段階】

D. 次世代地域リーダー育成科目群(2科目) ※科目数は平成27年度開講
…地域の課題発見から解決に向けた実践的な活動

▼
「次世代地域リーダー育成プログラム修了生」
履修証明の発行

▼
修了後1年以上の岐阜大学との協働活動実績
「ぎふ次世代地域リーダー」の称号授与



地域ボランティア活動の様子

02 研究

複雑・広範化した地域課題に対し全学の連携を強化し、複数の学問の「協働」による解決を図ります。

「地域志向学」

地域の課題解決に向けた実践的な方策を研究する新しい学問体系を「地域志向学」と捉えます。岐阜大学は様々な課題を掘り起こし、部局横断的な「協働」のもと、自治体・NPO団体・地域団体・民間事業者等との「協学」を進めながら、地域に貢献できる研究を推進します。

「地域志向学」の推進

○地域志向学プロジェクト

研究プロジェクトA

地域協学センターで設定したテーマに対して様々な視点から課題解決や課題発見等に向けた研究に取り組みます。
平成27年度プロジェクトテーマ…高齢社会、環境、過疎
平成26年度プロジェクト「空き家問題の解決に向けた地域づくりのための基礎的研究」(教育学部)他11件

研究プロジェクトB

岐阜県各地を対象に自由なテーマで、学際的に多様な視点から課題解決に向けた研究や、潜在的な課題を発掘する研究に取り組みます。

平成26年度プロジェクト「高山市におけるミズバショウ群落再生による地域活性化」(応用生物科学部)他5件

地域志向教育プロジェクト

岐阜大学の正課科目における新たな地域体験型の学習(実習)の導入・拡充を推進します。

平成26年度例「地域体験実習」(医学教育開発研究センター)他5件



平成26年度 中間報告会

03 社会貢献

多様な人々との交流を促進する空間を形成し、対話を通じて地域の課題解決を目指します。

「フューチャーセンター」

職業や年齢などの枠にとられない多様な人々が、未来について語り合う対話の「場」であり未来の価値を創造する「場」。岐阜大学が主催する「ぎふフューチャーセンター」では、大学関係者や学生だけでなくさまざまなメンバーが集まり地域の未来に向けたアイデアや解決策を創出し、地域に貢献します。

ぎふフューチャーセンターの形成

○平成26年度ぎふフューチャーセンター開催実績(抜粋)

■「県美術館を活用して地域を活性化するには」
(第1回／岐阜大学・岐阜県主催)

■「郡上市へ移住する人を増やすためには」
(第3回／岐阜大学・郡上市主催)

■「地域産業が活気付くには一雇用の場の創出―」
(第6回／岐阜大学・高山市主催)

■「飛騨牛ブランドをどう考えるか」
(第7回／岐阜大学・JA全農岐阜主催)

■「“岐阜らしさ”と暮らす ～文化的景観とは～」
(第11回／岐阜大学・岐阜市主催)

■「いびについて語ろう! ～地域のために若者ができること～」
(岐阜大学・揖斐高校連携)

「ぎふフューチャーセンター」全13回の実施に加えて、学生企画や、地元高校との共同開催も実現。のべ参加者数は400人以上。学生、大学教職員、地元住民、高校生、企業、NPO、自治体職員等さまざまな人が参加し地域の未来について対話しました。



学生企画のフューチャーセンター